

よこすか E C O 通信



第31号(平成30年12月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

「食品ロス」と「30・10」

日本の年間あたりの食品ロスは、どのくらいあると思いますか？

まだ、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は、日本では年間646万トンもあります。

日本人1人あたり「お茶碗1杯分(139g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

「もったいない!」と思いませんか？

大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、食品ロスを減らすことが必要です。

1人ひとりができることから
始めてみましょう

◎家庭編

- 買い物は必要な量にしましょう。
- 食べ切れる量を作り、残さず食べましょう。
- 消費期限と賞味期限を正しく理解しましょう。

◎外食編

- 食べ切れる量を注文しましょう。
- 食事を楽しむ時間を作りましょう。

“ろすのん”からのお礼

- ◇ 残さず食べてくれて、ありがとうのん。
- ◇ お腹にあった注文をしてくれて、ありがとうのん。



← 食品ロス削減国民運動キャラクター

名前: ろすのん (性別: め)
口ぐせ: 語尾が「のん。」
好きな食べ物: 刺身のつま、パセリ
夢: 食品ロスがなくなること
好きな言葉: 残り物には福がある

食品ロス削減国民運動

～ NO-FOODLOSS PROJECT ～ 進行中!!

◇ 日本でまだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」は、年間646万トン (世界全体の食料援助量の約2倍)

◇ 詳しくは→

食品ロス 農林水産省

検索

農林水産省

「食」は「いのち」の源。食べ物は大切に。
「や」は「い」の音。食べ物は大切に。
「や」は「い」の音。食べ物は大切に。

キーワードは、『30・10 (さんまるいちまる)』

◎家庭では

毎月10日と30日は冷蔵庫の中をチェックして、「消費期限・賞味期限切れ」「食べ残し」などを無くし、計画的に買い物をして無駄に捨てられてしまう食材を減らしましょう。

◎宴会では

乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう。

お開きの前の10分間はもう一度料理を楽しみましょう。

☆年末年始は忘年会や新年会で食べ残しが多くなる季節です。

1人ひとりが「もったいない」を心がけ、楽しく美味しく宴会を楽しみましょう。

●横須賀市でも国や県と連携して『食品ロス削減』に取り組んでいます！

詳しくは、横須賀市役所HPから  食品ロス で  検索

または、<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4220/recycle/genryou/20171130.html>



食べきりスカルン

参考: 消費者庁「食品ロス削減」食べ物のムダをなくそうプロジェクト

2面は「冬の環境学習講座などのお知らせ」、3面は「横須賀かんきょうフォーラムなどのお知らせ」、4面は「季節の自然図鑑」を掲載しています。



冬の環境学習講座などのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館

〇トピックス展示

干支展示「イノシシ・猪・亥年」

☆新年の干支にちなんだ展示を行います。

日 時 平成31年1月27(日)まで 9:00~17:00

場 所 博物館本館常設展示室



〇博物館教室

「横須賀ジオツアー」(全5回・野外4回)

☆三浦半島の地球科学について解説し、横須賀市内の地層や岩石を野外で観察します。

日 時 平成31年1月12日、1月26日、2月9日、2月23日、3月23日

各土曜日 10:00~12:00

定 員 抽選30名(中学生以上)

費 用 野外参加費各回1人50円

締 切 12月27日(木)



☆事前申込制

申込方法 締切日までに往復はがきに下記の事項を記入して、下記宛先へ

往信面①行事名②参加者全員(家族のみ)の住所・氏名・年齢・電話番号

返信面①参加者(代表者)の住所②氏名

宛先・問合せ先

横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95番地

電話046-824-3688

E-mail m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

よこすか海の大清掃

きれいな海を取り戻そう!

日 時 12月23日(日・祝) 9:00~10:00

※雨天中止

場 所 ヴェルニー公園

イオン横須賀店前側いこいの広場集合

持ち物 ゴム手袋、長靴

申込方法 参加自由 当日直接会場へ

問合せ先 NPO法人横須賀港湾防災支援会 松本
090-3105-5127



長井海の手公園(ソレイユの丘)

菜の花まつり

日 時 12月15日(土)~3月31日(日)

場 所 長井海の手公園(ソレイユの丘)

内 容 早咲きの菜の花がお花畑に咲き誇ります。

「関東富士見百景」第75番に選定されており、特に12月~2月の空気の澄んだ日は高確率で富士山を眺めることができ、菜の花と富士山のコラボレーションが楽しめます。菜の花の種をついばむために集まる野鳥「セッカ」の撮影スポットとして多くの野鳥愛好家が訪れます。

*詳細は、ソレイユの丘HPをご確認ください。

*開花時期は天候などにより変動します。



問合せ先 長井海の手公園(ソレイユの丘) 046-857-2500
<https://www.seibu-la.co.jp/soleil/>

三浦半島「自然ふれあい楽校」 2018年度湘南国際村めぐりの森づくり作業 ボランティア募集

☆湘南国際村めぐりの森で森の整備を行います

応募資格 ・高校生以上の自然を愛する人

・作業予定日のうち、3日間以上参加できる人

日 時 平成31年1月10日(木)、15日(火)、20日(日)、30日(水)、2月5日(火)、10日(日)、15日(金)、20日(水)、25日(月)、3月5日(火)、10日(日)、15日(金)、20日(水)、25日(月)、30日(土)

8:30~12:30 ※雨天中止

場 所 湘南国際村「めぐりの森」

持ち物 作業に適した服装、軍手、飲み物など

問合せ先 三浦半島自然ふれあい楽校

HP <https://sizen-fureai.com>

電話 080-5475-1395/FAX 857-8636

E-mail miurafureai@gmail.com



横須賀市地球温暖化対策地域協議会

冬季よこすか節電チャレンジ

この冬にご家庭で節電に取り組み、電気使用量が前年同月を超えなかった方に、抽選で20名様にLED電球をプレゼントします!

対象月 平成30年12月~平成31年2月

対象者 市内在住で、ご家庭の電気使用量が前年同月を超えなかった人

応募口数 1か月分(1口)から応募できます。

1世帯につき3か月分(3口)まで

申込期間 平成31年2月1日(金)~3月15日(金)

応募方法 「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)等の写しに「電話番号」、「世帯人数」を明記のうえ、下記宛先へ持参または郵送で。

宛先・問合せ先 横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局(環境企画課内)

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話046-822-8524

環境教育インストラクター 応募資格取得セミナー参加者募集

環境教育の指導者を養成、普及するためのセミナーを開催します。セミナーを受講された方は、全員に修了証が授与されます。修了証を授与された方は、環境教育インストラクター資格認定のための、書類審査を受けることができます。

日 時 平成31年1月12日(土) 10:00~17:00
1月13日(日) 9:00~15:00

場 所 かながわ県民センター

参加費 7,000円(環境社会検定合格者は5,600円)

定 員 25名(先着順)

締 切 12月27日(木) *定員になり次第締め切り

申込方法 申込書を記入して①または②へ

①E-mail 37keca@kke.biglobe.ne.jp

②FAX 045-226-5825

※申込書は <http://www.37keca.org/> からダウンロード

問合せ先 NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会(KECA)
高橋 090-5499-0831

横須賀かんきょうフォーラム2019

日時：平成31年1月26日（土）

開場12：30 閉場16：30

会場：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

（横須賀芸術劇場4階）

「京浜急行汐入駅」から徒歩1分、「JR横須賀駅」から徒歩8分

入場自由・無料（定員400名）

スカリンも
くるよ



子どもたちや環境活動団体等によるプレゼンテーション、横須賀いいね★エコ活動賞、環境ポスターコンクールの表彰式、パネル展示（環境活動団体や学校等の活動紹介）を行うなど、市内の環境に関する取組をご紹介します。

今年のアトラクションは東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCASTによる「失われた実験道具を取り戻せ！空気博士のサイエンスショー」です。皆さまのご来場をお待ちしています。

◆ステージイベント

☆表彰式（13:00～14:00）

- ・横須賀いいね★エコ活動賞
- ・環境ポスターコンクール

☆発表！私たちのエコ活動（14:20～15:00）

- ・子どもたちや環境活動団体等によるプレゼンテーション

☆アトラクション（15:10～16:10）

- ・東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST

「失われた実験道具を取り戻せ！空気博士のサイエンスショー」

◆フロア展示（12:30～16:30）

☆パネル展示（活動紹介）

☆環境ポスターコンクール入選作品展

☆チャレンジ！環境クイズラリー

☆スカリンへの環境メッセージ



環境ポスターコンクールは、「環境」をテーマに小・中学生が描いた作品を募集する絵画コンクールです。会場に平成30年度入選作品を展示します。このポスターコンクールは、企業等の協賛で行っています。

【協賛企業等（五十音順）】

イオンリテール(株)イオンくま野店、ウスイホーム(株)、(株)AFT、(株)クリーンパトロール、京浜急行電鉄(株)、(株)サガミ、(株)湘南衣笠ゴルフ、NPO法人湘南国際、湘南菱油(株)、NPO法人地球環境フォーラム、(一財)電力中央研究所横須賀運営センター、東京ガスライフバル飯田(株)、東京電力パワーグリッド(株)藤沢支社、東芝ライテック(株)、(株)トライアングル、日産自動車(株)追浜工場、横須賀グリーンゴルフ、横須賀市地球温暖化対策地域協議会、(株)横須賀建具アルミセンター、横須賀みかさライオンズクラブ、(株)横浜岡田屋横須賀モアーズシティ

港湾空港技術研究所へ 施設見学に行ってきました



私達“ネットワーク会議”では、環境教育活動に携わる方々とさらなるスキルアップを目指して、毎年講座を開催しています。今年度は、“国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所”へ施設見学へ行ってきました。

『ブルーカーボン』を聞いたことはありますか？

『ブルーカーボン』とは、海洋において、海藻等により吸収・固定される炭素のことで、同研究所沿岸環境研究グループ長の桑江朝比呂チームリーダーから『～よこすかにおけるブルーカーボンの活用について～』と題して、市内の藻場での研究成果や、海洋が陸域と比べて重要な炭素貯蔵庫であることなど、非常に興味深い内容のお話をいただきました。

各国で地球温暖化への対応が本格化する中、ブルーカーボンによるCO₂削減効果が注目されていますので、是非興味を持っていただきたいと思います。

詳しくは、港湾空港技術研究所HPをご覧ください。<https://www.pari.go.jp/>

かながわプラごみ ゼロ宣言



海洋汚染が今、世界規模で大きな社会問題となっています。また、プラスチックごみが小さく砕けてできたマイクロプラスチックが、世界中の海で確認されています。こうしたことから、世界中に展開している飲食店でプラスチック製ストローを廃止する動きが広がっています。そんな状況の中、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

SDGs※1 未来都市である神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題から、SDGs推進に取り組みます。プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止・回収などの取組を神奈川から広げていくことで、SDGs達成に向け、2030年までのできるだけ早期に捨てられるプラごみゼロを目指します。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/sdgs/plasticgomizero.html>

※1 SDGs…持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)

（神奈川県HPより）



魚の骨は、多くの場合は食べられない(非可食)部分として捨てられてしまうものです。しかし、魚の研究をする上では、類縁関係、生態などの情報をたくさん含んだ貴重な資料となります。

たとえば、背骨(せきつい骨)の数はイワシのなかまやウナギのなかまのように原始的なグループでは多く、マイワシでは50個前後、ニホンウナギでは100~110個あります。これに対して進化的な魚類といわれるフグのなかまのクサフグでは23個、マンボウでは15個ほどしかありません。これは魚類が進化にともなって骨の数が減る反面、一つ一つの骨が頑丈になるという傾向があるためです。

また、同じスズキのなかまでも、おもに動物プランクトンを食べ、口の中で卵を保護する習性のあるネンブツダイでは口を大きく広げてプランクトンを吸いこんだり、卵を口の中におさめやすいように「あご」や「えら」の骨が自由に動くよう、すき間があるのに対して、底生動物をかみちぎって食べ、岩に卵を産みつけて親が守り、敵がくるとかみついて攻撃する習性のあるクマノミでは、「あご」や「えら」の骨が密に組み合わさって大きな咬む力が出せるようになっている、というように生活の違いが骨格にあらわれています。

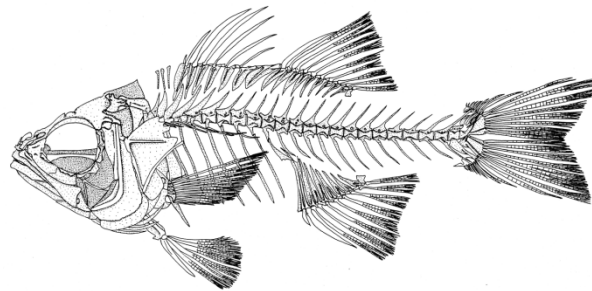
食べ終わった魚の骨、捨てる前にちょっと観察してみてもいかがでしょうか？



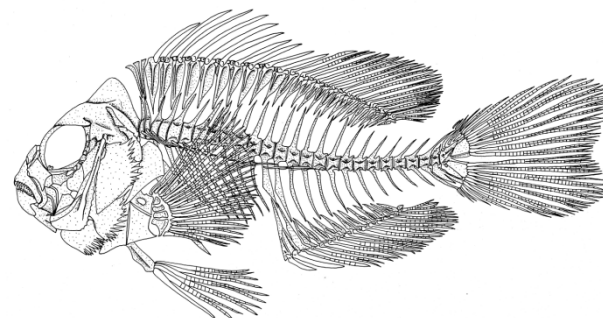
マイワシのX線写真



クサフグのX線写真



ネンブツダイの骨格



クマノミの骨格

(横須賀市自然・人文博物館 萩原清司)

みなさまからのECOな情報も募集してます。



発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力: 横須賀市自然・人文博物館
(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327, FAX: 046-821-1523, E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます！)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。